

第 33 回 豊 島 区 景 観 審 議 会 デ ザ イ ン 検 討 部 会

景 観 事 前 協 議 ②

景観カルテ

更新日：2023年9月15日

<事業概要>

案件名	東池袋一丁目地区市街地再開発事業に係る池袋駅前公園の改修		
所在地	〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目50-23		
主管課	都市整備部 公園緑地課 課	担当者	
関係課	課	担当者	
	課	担当者	
	課	担当者	

スケジュール	
ガイドラインに基づく有識者への相談 9月28日	豊島区景観条例に基づく届出要・ 否 事前協議書の提出 → アドバイザー会議 → 行為の届出 月 日 月 日 月 日

施設	<input checked="" type="checkbox"/> 公共建築物	<input type="checkbox"/> 道路、橋りょう、アンダーパス、駅前広場
類型	<input checked="" type="checkbox"/> 公園、緑地、緑道	
要素	<input checked="" type="checkbox"/> フェンス・塀類	<input type="checkbox"/> ポール類 <input type="checkbox"/> ネット類
	<input type="checkbox"/> 擁壁	<input checked="" type="checkbox"/> 設備類 <input checked="" type="checkbox"/> 舗装類
	<input checked="" type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場	<input checked="" type="checkbox"/> ファニチャー <input checked="" type="checkbox"/> 植栽類
	<input checked="" type="checkbox"/> 照明類	<input type="checkbox"/> 公共サイン・屋外広告物

<①企画・構想・調整段階 (ガイドライン p.22~27) >

チェックリスト	具体的配慮内容 (又は実施できない理由)
方針1 地域の景観資源や特性を尊重する (周辺の状況整理)	
地域の景観資源や特性を事前に調査し、景観の文脈を継承する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 立地特性から鉄道との調和を図ります。 既存樹を生かした緑豊かな公園とします。
方針2 施設のまちづくりにおける役割を把握する	
施設の位置づけや地域の景観方針を整理する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> まちの街路との結節点にボリュームのある緑を配置し、街の景観向上に寄与します。
地域住民等のニーズを捉える	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に対応する広場を設けます。
方針3 関連する様々な主体との調整を図る	
関連する事業との調整を図る	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 再開発による地域人口増加に対応した、歩きやすい園路を計画します。
専門的かつ多角的な視点から景観まちづくりを考える	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 周辺市街地とつながる交差点部に広場、施設を整備し、緑を用いて効果的に顔をつくることにより視線を誘導し、まちの回遊性を高めます。

施設のコンセプト (※検討資料等があれば別添で可)
みどりの連続性とまちの回遊性を高める歩いて楽しいプロムナードづくり

その他 引継事項 (有識者のアドバイス・地元の意見等)
特になし

<②計画・設計段階 (ガイドライン p.28~39) >

チェックリスト	具体的配慮内容 (又は実施できない理由)
方針4 景観の「地」と「図」の関係を意識する	
「地」となる施設は周辺の街並みになじませる	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 地となる公園施設として既存樹保全に加え、新植樹木を補植し、緑豊かな街並みのイメージを強化します。
「図」となる施設は地域の景観の魅力を高める質の高いデザインとする	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 図として街路の交差点部にパークセンター施設を設け昼夜問わず人のよりどころとなる場所を創出します。
方針5 地域や周辺の公共施設等とのかかわりに配慮する	
周辺の公共施設等と一体的な景観づくりに配慮する	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 敷地のリニアな線形を活かして緑のネットワーク強化を行います。
周辺の公共施設等との視覚的なつながりに配慮する	<input type="checkbox"/>
緑のネットワークづくりに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
方針6 施設の利用者や地域の目線に立ち、快適な公共空間づくりに配慮する	
にぎわいが連続する公共空間づくりに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> まちとの結節点を意識した広場、施設配置により、まちとしての回遊性を高めつつ、公園内に多様な緑とゆとりのある園路を一体で通すことで、歩いて楽しい空間をつくり出します。
人を中心とした空間づくりに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
具体的な利用シーンを想定した設えに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りなどの行事に対応できる広場を設けます。
方針7 安全性や機能性と景観を両立する	
ユニバーサルデザインと景観デザインの両立に配慮する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 安全に歩ける広幅員の園路を確保します。 既設駐輪場への自転車の動線と駅からの歩行者の動線が交わる箇所を集約して公園内の安全性を高めます。
安全で快適な歩行者空間づくりに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
施設の防犯性と景観デザインの両立に配慮します	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 見通しの利く園路計画や植栽形状により死角がでず、まちに開けた公園とします。
方針8 夜間も安全に楽しめる景観づくりに配慮する	
地域の個性を引きだてる夜間景観の形成に配慮する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 円弧状園路の外側に光のボリュームができるように計画することで進む方向に光を感じながら歩ける安心感のある夜間照明とします。
安全かつ快適な夜間照明に配慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
方針9 時間の経過に配慮する	
維持管理を想定した整備やルールづくりに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> 樹木は根の保護や土壌の健全性を担保する設計とすることで枯れのリスクを少なくして維持管理にも寄与します。
時間の経過による素材の変化、植栽の成長など時間の流れに配慮する	<input checked="" type="checkbox"/>

有識者のアドバイス	申し送り事項 (設計者の意図など)
対応内容	